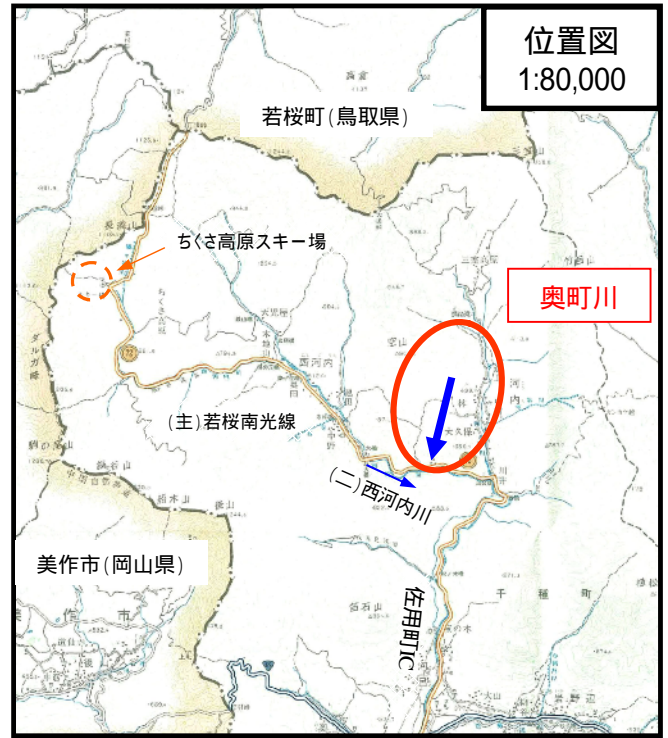
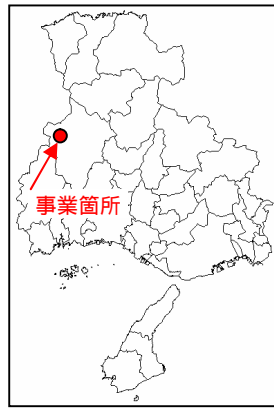


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (樋口和夫)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.6億円
		通常砂防事業 おくましがわ 奥町川	宍粟市 ちくさちょうにしごうち 千種町西河内	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
宍粟市千種町西河内				H23	H25
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)千種川水系西河内川に流入する土石流危険溪流 ・針葉樹林に覆われた流域は、風倒木が多数発生しており、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に災害時要援護者関連施設である幼稚園があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約1ha(長さ150m、最大幅150m程度)に及ぶ。 ・千種北小学校・千種北幼稚園(災害時要援護者関連施設)、県道若桜南光線				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成22年度に土砂災害警戒区域を指定予定であり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められる。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・えん堤設置位置付近に広い作業ヤードを確保することができ、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・災害時要援護者関連施設(幼稚園)や小学校といった重要施設が存在することから、早期着手に対する地元・施設からの要望が強い。 以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

おくまちがわ
奥町川
 [宍粟市]



計画概略図
 縮尺 1 : 3 , 0 0 0

